



令和8年度が始まりました。

令和8年4月8日(水)、児童数766名、職員数77名で本年度がスタートしました。朝、登校してくる子どもたちが、元気に、そして自分たちから先に「おはようございます」と挨拶をしてくれる姿に、たくさんの元気を貰いました。

昇降口には、各学年の学級編成が掲示してありました。友達と名前を確認している4年生の児童に、「今年から、4人の先生が担任になるけど、どう思う？」ということを探ねました。「楽しみです。」という返事が返ってきました。子どもたちも新年度を迎え、期待に胸を膨らませている気持ちが伝わってきました。

新年度を迎えるにあたり、子どもたちはそれぞれに、昨年度の自分自身を振り返りながら、新たな気持ちで、新たな目標を持って登校していると思います。そんな子どもたちの気持ちに寄り添いながら、よりよい教育活動を展開していきます。そのために、我々教職員は、単に「教える」のではなく、「一緒に考えていく」ことを大切にしていきます。子どもたちが、将来の夢に向かって意欲的に学び続けるとともに、安心して学校生活を送ることができるように、職員一同、精一杯努力していきます。1年間、よろしくお祈りします。

## 就任式

本日、18名の先生方を新たに迎えました。先生方が、それぞれ、端的にご自分の事を紹介されましたが、皆さん、話がとても上手で、子どもたちも先生方一人一人の話に聞き入っていました。先生方の紹介に関しましては、安心安全メールにてお知らせしておりますので、ご確認をお願いします。



## 始業式

就任式に引き続き、始業式を行いました。新年度が始まるにあたり、私から、充実した学校生活を送るために、2つの身に付けてほしい力と、学ぶために大切にしてほしいことの話をしました。



身に付けてほしい力の1つは、「話を聞く力」です。昨年、1年間言い続けてきたおかげで、子どもたちにも随分浸透してきていることを感じています。文字で表す

と「聞く・聴く・訊く」力を身に付けてほしいということです。人の話を自分なりに理解しようとして「聞く、聴く、訊く」ということは、話に反応できるということです。これが対話力であり、コミュニケーション能力の1つです。この力は、人と人との豊かなかかわりを築いていくことにつながります。

2つ目は、「行動する力、伝える力」についてです。子どもたちには2つの事を話したつもりですが、ここに書き表してみると3つのことになっていました。学校生活の多くは授業時間です。その間に休み時間、給食や掃除時間があります。充実した学校生活を送るためには、その時、自分は何をするべきなのか、考えた行動が必要だということをお話しました。その中で、授業中に学びの妨げになるような言動や、給食や掃除などの当番活動をきちんとしない人がいた場合を例に挙げて話を進めました。みんなが気持ちよく学校生活を送るためには、守るべきルールがあります。ルールを守る事ができていない場合は、互いに正しく指摘し合える、注意し合えるようになってほしいという思いを伝えたいつもりです。正しいと判断したことを正しい言葉で伝えることが、人とのつながりをより確かなものにしていくことになるはずです。

最後に教科書に詰まっているものについて話をしました。教科書には、小学校で学習する全ての内容が詰まっています。合わせて、子どもたちにしっかりと学んでほしいという家族の思いが詰まっていると思います。また、教科書無償化に取り組まれてきた先人の「子どもたちに平等に教育を受けさせたい」という思いも込められています。何度も何度も読み返しなが、しっかりと学んでほしいです。

## チーム担任制のはじまり。

4年生以上でチーム担任制をスタートしました。学級・学年開きの中で、学年部の先生方が、丁寧に説明されていました。



特に各学級で担任業務を行う職員が定期的に変わっていきますので、どの先生が対応しても、同じ視点で進めべき基準について説明されていました。

チーム担任制の良さは、何と言っても複数の教員で1人1人の児童を多角的、多面的に見ることができる点です。子どもの良さを発見、子どもたちの自己肯定感の向上・安心感につながることを期待できます。また、子どもにとっても、自分の状況に応じて関わってほしい教員を選ぶことができる状況でもあります。子どもにとってのメリットを最大限に生かす工夫をしていきます。